



来年度予算に対する要望書を市長へ提出！中身は？意味あるの？

日本維新の会横浜市会議員団・無所属の会は、令和8年度予算編成に対する政策提言として、10月21日に横浜市長へ要望書を提出しました。柱は次に5つです。1. 成長戦略 2. 市政改革 3. 次世代への投資 4. 持続可能で強靭な都市づくり 5. 医療・福祉等の住民サービスの充実。横浜市が予算編成する上で、予算議決権を持つ議会を構成するグループの意見として尊重され、3月末に要望に対する回答を受領します。



詳しくは、HPに全文掲載しています。

自民・維新の連立政権により 横浜市にどんな影響があるの？

自民党と日本維新の会の連立合意書には、横浜市政に関わる重要な項目が含まれます。

① 高校・学校給食の無償化で格差是正へ

来年4月から高校授業料と小学校給食を無償化する方針が明記されました。東京都並みの子育て支援を横浜市が独自に実施すれば年間277億円^{*}の財源が必要。このために横浜市が国に要望していた全国同一水準の子育て・教育支援の一部が実現します。

② 社会保険料の負担軽減で家計にゆとり

医療や薬の負担見直しや制度改革により、現役世代の保険料率引き下げを目指す改革が動き出します。手取りが増えれば、市内消費や地域経済にも好影響が期待されます。年収350万円の単身者の社会保険料は会社負担50万、自己負担50万、合計100万円ほどで、毎年保険料率が上がっています。

③ 地方分権の推進で“横浜発”の政策へ

副首都構想を一里塚として国から地方への権限移譲の進展が見込まれます。二重行政解消や災害時の迅速な行政執行、区の権限強化などが期待できる特別市制度の実現には追い風であると捉えます。

*出典：令和6年11月横浜市の国への要望項目「子ども・子育て施策における全国同一水準の保障」

第三回定例会はどうだった？ 決算審査で質問に立ちました！



<質問や要望を行った主な会議>

- 9月5日 鶴見区区づくり会議
- 9月16日 教育委員会
- 9月17日 こども青少年局
- 10月7日 脱炭素・GREEN ×EXPO推進局 ※
- 10月14日 都市整備局 ※
- 10月16日 みどり環境局 ※
- 10月18日 建築局 ※

※：決算特別委員会局別審査

裏面では、ご関心の高い鶴見駅中距離列車の停車やJRガード下に関する質問をピックアップしました。

／市政報告会開催のご案内／

第三回定例会の決算審査、質問の内容、鶴見区の課題など最新情報をお届けいたします。一緒に鶴見のこと考えませんか？ぜひご参加ください！

- ・ 日時 11/29(土)15:15～16:30 (15:00～受付開始)
- ・ 場所 フーガ1 (SEIYU) 鶴見公会堂2号会議室
- ・ 会費 無料 (学生やお子様連れも歓迎です)
- ・ 申込方法
 - ①二次元コードから (フォーム)
 - ②FAXの場合は、氏名、住所、電話番号を記載して送信ください
 - ③お電話でも受け付けます。



申込フォーム



PROFILE

柏原傑（かしわばらすぐる）
1985年広島生まれ／鶴見区寺谷在住／妻と小学生3人の5人家族／公立小中高を経て、千葉大学工学部卒／民間企業を経て、2023年より横浜市会議員／会派及び県連政調会副会長
こども青少年・教育委員会及び市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会 委員

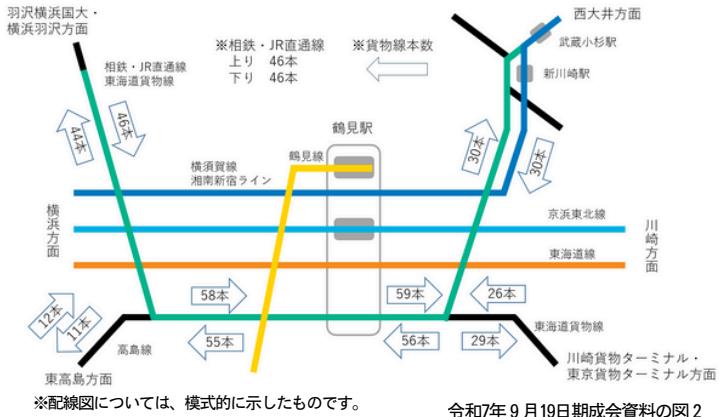
議会質問 を紹介！

鶴見駅の中距離電車停車の課題は？

JR鶴見駅への中距離電車（相鉄・JR直通線）停車について質問し、以下の答弁を得ました。

- ・鶴見駅は京浜東北線と鶴見線が接続し、多くのバスが発着するなど京浜臨海部の交通結節点として重要な役割を担っている。
 - ・停車が実現すれば都心方面への通勤時間短縮や京浜東北線の混雑緩和などの効果が見込まれる
 - ・一方、貨物線を利用しているため線路移設やホーム新設が必要で、整備費用は自治体負担となる課題がある。鉄道事業者との協議を進め、貨物ダイヤへの影響を分析した上で、技術的な実現性や費用対効果(B/C)の再算出を検討する。

＜鶴見駅周辺配線図、貨物運行状況＞



教員盗撮SNS共有事案や物価高騰
対策について緊急要望を提出。

横浜市教員による盗撮・SNS共有事件を受け、会派として迅速かつ誠実な対応を求める緊急要望書を横浜市長・教育長宛に提出しました。これに対し8月18日



正式な回答があり、被害児童の心のケアや学校現場への支援体制強化、再発防止策の検討委員会設置、教職員の私用端末管理の見直しなどが示されました。さらに9月4日には、物価高騰が市民生活を直撃している現状を踏まえ、市民へ直接還元する物価高騰対策を求める緊急要望書を横浜市長に提出。水道基本料金の一時減額や、小中学校給食費無償化など、市民が実感できる支援策の早期実施を求めました。今後の補正予算案等を注視いたします。このように、住民代表として、緊急時には行政に要望書を出し改善や対応を求めることもできます。



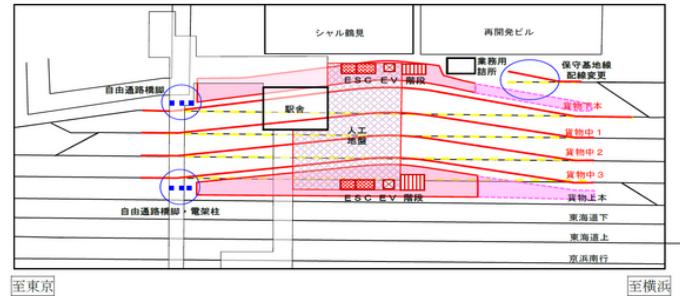
9月4日の要望書提出

今後の議会の予定

10月23日に第三回定例会が閉会。次回の第四回定例会は11月末から。給与条例改定や補正予算等を審議します。閉会中は調査の他、政策実現に向けて関係機関への働きかけを行います。

平成27年の試算ではコストは300億円。ただし、東日本大震災前の事例から算出した概算です。当時はコストよりも便益が上回る検討結果が出ていますが、実現に向けては、より実現可能なプランによる実勢にあったコスト算出が不可欠です。

【ホーム設置位置検討イメージ図】



ホーム設置位置検討イメージ図と費用便益分析（平成27年度の調査結果より）

鶴見駅周辺の東西ルートの改善を

区役所前を通る県道鶴見溝ノ口線は、鶴見駅東西を結ぶ主要動線です。JRガード下では自転車や歩行者の安全性に対する不安の声が多く寄せられていることを踏まえ、柏原からは、「人や環境に優しい公共空間をどう描くのかという都市政策の理念が問われている」と問題提起しました。これに対し市は、「安全で快適に移動できるまちづくりを目指す」とし、関係区局や鉄道事業者と連携しながら、市民の声に応えていくとの答弁がありました。



意見が多いので、質問しました！

議員の使い方を紹介します



[議員を動かそう。議員の議会質問/要望提言へ](#)

普段の暮らしの中で「おかしい」「不便」といったことがあれば、議員に伝えることが重要です。電話、メール、LINE、SNSのDM。何でもOKです。声の重みと大きさが可視化されれば、政治行政が動きます。柏原はIssuesという課題解決のプラットフォームで意見募集を随時行っています。これを通じて得たご意見の内容や声の多さで議会質問にするのか、要望として取り上げるのか判断しています。柏原は050-3637-5722にて直通で繋がります。あなたの声でまちをもっと良く



お間合せ

ご意見やご質問は隨時受け付け中！
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

